



いなみ虹保育園病後児保育室 レインボー通信

No.13. 2018. 04. 25 発行



ただの風邪かと思ったら・・・「溶連菌」

春先から、溶連菌の患者さんが増えています。溶連菌は、日常的によく見られる咽頭の細菌感染症で、兄弟間や保育所、幼稚園、小学校などで感染しやすい病気です。風邪に似た症状で始まりますが、きちんと完治しないと重大な続発症を引き起こす危険性のある細菌でもあります。

溶連菌の症状

38～39℃の発熱、のどの痛み、嘔吐などから始まり、風邪の症状と似ています。顔や体に発疹が出たり、舌に莓のようなぶつぶつが発生するイチゴ舌といった症状が見られることもあります。

これらの症状は、抗生物質を飲むことで速やかに改善しますが、きちんと服用しなかった場合、急性糸球体腎炎や、リウマチ熱といった続発症が起こる可能性があります。

家庭でのケア～溶連菌と診断されたら～

・薬を飲み忘れないように、最後まで服用する
抗生物質を飲み始めると、1～2日程で症状が改善します。しかし、そこで飲むのをやめてしまうと、合併症や続発症を引き起こす危険性が高まるので、処方通りに最後まで飲みましょう。



・のどに痛みがあるので、のどごしのよい食べ物をとる
うどん、ゼリーやプリンなど食べやすいものを与えましょう。食べ物が辛ければ、水分補給だけでもしっかりと取りましょう。



・発疹が出ているときは、お風呂はぬるめにする
熱が下がっているときは、長湯をしなければ入浴も可能です。ただし、温めるとかゆみが強くなります。温めすぎないように注意しましょう。また、かきこわさないように、爪を短く切っておきましょう。



・きちんと手洗い、うがいをする
大人にもうつる恐れがあります。風邪の予防と同じく、普段から手洗い、うがいをしっかりとしましょう。また、抗生物質を服用し症状が改善すれば、他の児に感染させる恐れはなくなるため、一両日で登園・登校が可能となります。ただし、発疹が出ている場合などは、消えるまで安静にしているのが望ましいとされています。

・顔のむくみ・尿がでないなどの場合は、至急医療機関を受診する
感染後一か月程度は続発症が発症する危険性があります。診断して2～3週間後に尿検査を行い、尿たんぱくや血尿がみられていないか検査します。腎炎を発症すると、顔がパンパンに浮腫んだり、尿がでなくなる、もしくは肉眼的血尿が見られます。このような症状が見られた場合は、直ちに医療機関を受診しましょう。

☆ ご予約・お問い合わせ ☆
いなみ虹保育園・病後児保育室「レインボー」
住所：兵庫県加古郡稲美町国安1256番地
TEL:079-490-2064(専用電話)
FAX:079-490-6682

* 詳しくは「いなみ虹保育園HP」「稲美町HP」をご覧ください。



編集：篠田